

議会だより

2011.7.25

64号



次の目標に向かって!!

7月2日、球磨村総合運動公園で、郡市中体連女子ソフトボール競技が行われました。3年生にとっては最後の大会です。試合中にも、いろいろな思いが胸をよぎったことでしょう。これからは、芽生えた友情を大切にしながら、次の自分の目標に向かって、がんばって下さい。（写真は球磨中（守備側）対水上中戦）

球磨村世帯数 1,636世帯
人口 4,483人・男 2,129人・女 2,354人
(H23年6月30日現在)

発行……球磨村議会

編集……球磨村議会広報特別委員会

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

Tel (0966) 32-1111

目次

| | |
|------------------------------|-----|
| 6月定例議会…………… | 2～3 |
| 一般質問…………… | 4～8 |
| 田舎の体験交流館 「さんがうら」オープン…………… | 9 |
| 旬の話題…………… | 10 |

6月定例議会

村有施設整備基金に 9,634万円を積立



6月13日から17日まで開かれました平成23年第4回(6月)定例会に提案された議案は、報告1件、承認6件、辺地に係る公共施設の総合整備計画ならびに熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更議案の2件、平成23年度球磨村一般会計・介護保険特別会計補正予算2件の11議案でした。

一般質問には5名の議員が登壇、行政課題・施策などに議論が行われました。

会期5日間で開かれた第4回定例会は、すべての議案が慎重に審議された結果、原案のとおり、承認・可決されました。

定例会初日は開会后、3月定例会以降の諸般の報告から始まり、例月監査結果の報告、会議録署名議員の指名に続き、会期を6月13日から6月17日までとすることが決定されました。

一部事務組合人吉球磨広域行政組合議会ならびに人吉下球磨消防組合議会の報告が行われた後、上程された報告第1号、平成22年度一般会計繰越明許費繰越計算書の説明が柳詰村長からあり、質疑の結果、「異議なし」との発言にて報告は、終了しました。続いて、

議案ごとに柳詰村長より提案理由の説明がありました。

14日は、自宅審議につき休会。15、16日には一般質問が行われ、告知順に5人の議員が登壇、行政課題、施策などへの質問を行いました。

最終日の17日には、承認第1号から第6号までの専決処分事項報告承認を審議、すべてを承認した後、辺地に係る公共施設の総合整備計画、熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更、平成23年度球磨村一般会計・介護保険特別会計補正予算を上程、議案ごとに慎重に審議され、いずれも可決しました。

付議された各案件は、すべて議了し、平成23年第4回定例会は、閉会しました。

報告

○報告第1号
平成23年度球磨村一般会計繰越明許費繰越計算書

事業名、きめ細やかな交付金事業費84,460千円、住民生活に光をそそぐ交付金事業費2,880千円が翌年度へ繰越されました。

(注) 繰越明許

何らかの事情により、その年度内に支出を終了することができない経費について、特別に、翌年度1年間に限り繰越して使用することができるものです。

承認

○承認第1号

・球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

○承認第2号
 ・球磨村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
 国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行にもとづき、条例の改正を行うものです。

○承認第3号
 ・平成22年度一般会計補正予算(第8回)
 平成22年度一般会計予算のうち、歳入歳出それぞれ63,129千円を追加し、歳入歳出予算の総額を33億76,271千円とするものです。

歳入の主なものとして、地方交付税59,736千円、地方贈与税4,860千円などです。
 歳出では、村有施設整備基金積立金として、96,342千円、ふるさと応援基金積立金729千円が計上され、その他の予算費目については、減額補正等となりました。

○承認第4号
 ・平成22年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算(第3回)
 歳入歳出にそれぞれ、17,450千円を減額し、歳入歳出総額それぞれ5億86,510千円とするものです。歳入の主なものとして、国庫支出金9,286千円、療養給付費交付金3,050千円などが上げられます。一方、歳出では、保険給付の療養諸費として17,450千円が計上されました。

○承認第5号
 ・平成22年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)
 歳入歳出それぞれ、93千円を計上、歳入歳出予算総額は53,036千円となります。

○承認第6号
 ・球磨村税条例の一部を改正する条例の制定

先の東日本大震災に係る雑損控除額等の特例ならびに東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例等です。
 いずれも専決処分事項報告承認として、承認されました。

補正予算

平成23年度補正予算
 ○議案第24号
 ・平成23年度球磨村一般会計補正予算(第1回)
 歳入歳出それぞれ4,156千円を追加し、歳入歳出予算の総額を28億94,156千円とするものです。

歳入では、総務債として情報通信施設整備事業に3,000千円、土木債1,000千円が主なものです。歳出は、公有財産システム航空写真データ取込業務委託料

2,835千円、産業振興対策事業補助金500千円、公民館改修補助金として1,337千円などを計上。

○議案第25号
 ・平成23年度球磨村介護保険特別会計補正予算(第1回)
 歳入歳出予算の総額をそれぞれ、6億55,471千円とするものです。

ふれあいサロン業務委託料1,459千円を減額して、ふれあいサロン賃金に1,459千円を計上しました。

その他

○議案第23号
 ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画
 辺地を有する市町村

は、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財

政上の特別措置等に関する法律(辺地法)にもとづき、辺地にかかる公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画を辺地ごとに策定して、その計画にもとづき、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図るものです。

○議案第24号
 ・熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更
 熊本県市町村総合事務組合規約の一部を次のように変更するものです。

「玉名市玉東町病院組合」を「公立玉名中央病院企業団」に、「球磨郡公立多良木病院組合」を「球磨郡公立多良木病院企業団」に改められました。



六月定例 一般質問

高齢化が進む中、 災害に強い村にする には

長 治山・洪水・急傾斜対策や
道路整備を計画的に進める
ことが重要

田代 利一議員

- 一、安全で快適な暮らしの環境つくり(防災対策)
- 二、活力に満ちた産業つくり(農業振興)

田代議員

3月に発生した東日本大震災から3ヶ月が過ぎました。高齢化が進む球磨村も災害に強い村にする必要があると思います。その対策について、どのような考えか伺います。

村長

高齢化が進む中で、安全で快適な暮らしの環境づくりを進めていくには、治山事業、洪水対策、急傾斜事業、さらには道路整備を計画的に進めることが重要と考えています。

田代議員

地震は、いつどこで発生してもおかしくない状況です。特に小さい地区においては自主防災組織が必要だと思っておりますが。

村長

球磨村でも平成22年3月に球磨村耐震改修促進計画を策定しています。また、球磨村地震防災マップを作り、それぞれの世帯に配布をしています。自主防災組織については、その組織率を高めるとか、あるいは地区によって自治組織を立ち上げておりますので、その規約の中にそういう動きも取り込むような指導は、村としてもしていきたいと思えます。

田代議員

今回の大地震で、宮城県の「釜石の奇跡」というのが新聞に記載してありました。それは、日ごろの防災教育の徹底で児童生徒のほとんどが津波に対し無事だったということだと思います。そこで、村内の小中学校において防災訓練などは実施していますか。

教育長

各学校において毎学期に1回、防災訓練を実施しています。日ごろの訓練が重要ではないかと思えます。定例の校長会では、これまで火災、水害、不審者対策を主に議題として実施していましたが、今回の定例会

では地震対策も十分に行うよう依頼したところでです。

田代議員

保育園では、どうされていますか。

住民福祉課長

村内には3ヶ所の保育園があります。毎月1回、火災訓練と地震訓練を実施しています。また、災害の発生状況に応じて避難経路を変えらるというような対策もとっているようです。

田代議員

球磨村は地震よりも洪水対策やがけ崩れ対策が必要だと思えます。そこで、道路関係の点検について、どのようにされていますか。

建設課長

村道については、月に4〜5回ほど点検しています。また、梅雨時期には、回数を増やして異常な所がないか確認をしています。

田代議員

村道の中には、路肩が下がり非常に危険なところやガードレールがあつたらいいなという所を見かけます。予算がないのであれば、応急処置をするとか虎ロップを張っておくとか方法はあると思えますが。

建設課長

早く対策を立てて、通行の安全を図りたいと思えます。

田代議員

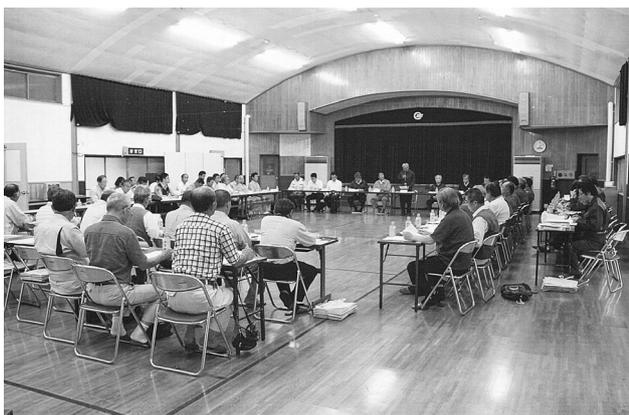
次に、本村の基幹産業である農林業が低迷する中、どのよう

に生き残りをかけるかが切実な問題となっております。特に農業後継者が減少する中、今後の農業振興の考えを伺います。

村長

農業情勢については、高齢化、担い手不足、鳥獣による農作物への被害と厳しい現状です。これまで展開している中山間地域直接払い制度などの国からの補助事業に加え、新たに棚田応援隊というものを組織して、現在実施している事業と新たな事業を包括して、球磨村まるごと博物館事業を立ち上げたところです。

(質問時間60分)



毎年6月に開催される防災会議

安全安心な村づくりについて

長 行政区の編成を機に地域の対策を進めていきたい

高澤 康成 議員

- 一、安全安心な村づくりについて
- 二、定住促進について

高澤 議員

安全で快適な暮らしの環境づくり、やすらぎと思いやりのある地域づくりの観点から、災害時における本村の危機管理について伺います。

地域防災計画に基づき、迅速に対応する体制が必要ですが、各集落の高齢化、過疎化により自主防災の意識はあるものの現状はまだ課題があるように感じます。そこで、災害時における危機管理の取組について伺います。

村長

23年6月現在、自治会の組織、地縁の認可団体が22団体登録されています。今後も自主防災組織を立ち上げ集落単位、行政区における防災活動を支援し、村民全体の防災意識の高揚を図っていききたいと思います。

高澤 議員

地理的問題で災害時に

おける集落の孤立した場合の迅速な対応ができるか非常に心配していますがその対応を伺います。

内布 課長

行政区全体の問題として、自主防災を考え要請を頂きますと、村として積極的に対応したいと思えます。

高澤 議員

元消防団員による予備消防団の考えはありませんか。

村長

OB組織をつくる事を指示をしています。

高澤 議員

災害時における救援護者の初動的な対応としてAEDの設置の考えはありませんか。

村長

緊急対策を講じる為の必要な手段として、AEDが必要であれば考えていかなくはないだろうと思えます。

高澤 議員

次に、定住促進について伺います。小規模集落においては、人口の流出と、高齢化が進み、社会的共同生活の維持が困難になっているところも少なくありません。将来的問題と今後の球磨村のビジョンを伺います。

村長

財源が減ってくると行財政運営も考え、また財政需要額が減少することによって、予算規模も考えなければならぬと思えます。よって集落を

含めみんなで考える地域社会を創っていかなくてはいけないと思えます。

高澤 議員

人口減少がすすむ中でマインナス影響とされる問題点が、労働者や貯蓄が減少し経済成長が阻害され、地域の活力が喪失し、コミュニケーションが崩壊するなどが上げられます。他にも、「かわせみ」などの運営などの問題があり、どのような対策を講じていかれるのか伺います。

村長

深刻に思っています。「かわせみ」や「せせらぎ」のどちらの施設も厳しい状態が続いています。しかし住民の働く場所であることも念頭に置きながら存続に努めたいと思えます。また、田舎の体験交流館「さんごうら」も、文化・レクリエーション活動の場でもありますので村として支援しなければいけないと思えます。

高澤 議員

厚生労働省の発表で特殊出生率

全国上位に隣接町村が入っています。過去に本村も住宅など抜本的な対策を講じていたなら人口減少の歯止めになつていたと思えますが。

村長

宅地造成については、予算的な問題もありますが、定住促進の環境づくりはぜひ考えていかなければいけないと思えます。

(質問時間60分)



定住促進を目的に建設された一王子団地

さくらドームまわりの砂利敷きの改善

長 車イス等の通行は改善策を考えたい

嶽本 孝司議員

一、ふれあい祭りのイベントについて

二、入札制度について

嶽本議員

村の行事の一大イベントは、村民体育祭でしたが、現在ではふれあい祭りが最大イベントに取ってかわりました。さくらドームを核とし、各テナントのテントが所狭しと並び、2日目になりますと大盛況となります。イベントの中でメインと聞けば、経費面で一番高い歌謡ショーと思います。この歌謡ショーの経費を村民にまわす考えはないか伺います。

村長

祭り自体については各種団体から出ました企画委員が検討をしているところ。めったに見ることがない芸能人を呼ぶことも、ふれあい祭りならではのことであります。

嶽本議員

歌謡ショーがメインで

あり、やめるのは集客に難をきたすと思いますが、経費の半分を郷土芸能や球磨村音頭歌唱祭、忘れされようとしている相撲甚句歌唱祭などにまわす考えはありませんか。

村長

発表の機会が、果たしてふれあい祭りに適しているかどうか、村民のみなさんや観客の方が喜んでいただけるか、検討の余地があると思います。

嶽本議員

次に、イベント会場や、各テナントの周辺が砂利敷きであります。歩行に困難される方や車イスでのお客さんが、大変苦労されております。これらの対応策について伺います。

村長

全面舗装は考えておりませんが、当分の間は現状のまま行きたいと思えますが、車イス等の通行については改善策を考えたいと思えます。

嶽本議員

テナントをグラウンドに置いたら、歩行に困難される方には解消できるとおもいます。それから、各地区を代表した相撲甚句歌謡祭などもプログラムのページにお願いいたします。ふれあい祭りについては、産交バスによる送迎もあり大変助かっておりますが、中でも一人住

まいの方の参加が少なくなっておりますので、コミュニティ確立の為に、区長さん、班長さんをお願いし、バスが行かないところは、配慮をお願いします。

次に、入札制度について、現在、指名願いは何件出ていますか。

村長

土木および建築工事で356件、コンサルタント業務が278件、全体で634件です。

嶽本議員

村内業者の指名願いの状況を伺います。

村長

土木工事業者6社、建築工事業者6社、電気工事業者4社、板金工事業者1社、コンサルタント、設計関係が、2社です。

嶽本議員

今年度、予算化されました村営住宅や、一般住宅の建築物については、建築確認はありますか。

建設課長

一般住宅については、建築確認はありません。施設規模の大きい建物については建築確認があります。

嶽本議員

今回の村営住宅の建設については、6社の指名競争入札と考えてよろしいでしょうか。

村長

できるだけ村内の企業育成も含め、入札指名審査委員会で検討することになります。

嶽本議員

また、住宅周辺の街灯につきましては、防犯灯としての働きもあり、付帯設備でお願いします。

(質問時間30分)



多くの人で賑わう「ふれあいまつりくまむら」

暮らしの環境及び農業の振興について

長 諸問題を含め積極的に検討します

舟戸 治生 議員

- 一、公設施設の業務運営について
- 二、暮らしの環境及び農業の振興について
- 三、商工業の振興について

舟戸議員

「かわせみ」や「せせらぎ」の公設施設の業務運営について、指定管理者制度を導入され効果的に民間のノウハウを幅広く活用し、経費の節減を図っておられますが、施設の経営状況を伺います。

村長

「かわせみ」については、非常に経営状況が厳しくなっております。特に平成22年度は、口蹄疫の影響があり、お客様の入りがよくありませんでした。また、「せせらぎ」につきましても経営状況は厳しくなりつつあります。

舟戸議員

「かわせみ」の経営が厳しいということで、そこには何か原因があるのではないかと、他町村

の施設を調べてみました。そこには、足湯や赤外線サウナ、家族湯や歩行浴、またトレーニングルームやインターネットが部屋でできるところもあり、「かわせみ」より設備が充実しているのではないかと思います。しかし、清潔感等は、球磨人吉でも評判ですので、別館の大改造を進めながら薬湯・家族風呂、トレーニングプール等の設備を充実させる必要があると思います。

村長

集客につながるような改造は、考えていく必要があると思います。新幹線も全線開通で関西から少なくとも4時間で来ますし、SLも復活しておりますので、PRはこれからもやっていきたいと思っています。

舟戸議員

暮らしの環境及び農業の振興について、農道・農業用水路・遊休農地の活用面から伺います。農業後継者不足で高齢化になっていきますが、農道・農業用水路の整備は不可欠だと思います。それが遊休農地の賃貸の斡旋にも繋がりますし、遊休農地の解消を促進する事はできると思います。そこで、いろいろな事業があると思いますが、

村長

社会資本整備の事業について

の協議会がございました。県の担当者の話では農村整備についても単県の新しい事業を立ち上げておるようであります。情報をもとに村として考えながら支援策を講じていきたいと思えます。

舟戸議員

商工業振興について住宅リフォームに関する助成制度の創設を求める要請書がでていますが、

賃金の低下・仕事の減少・雇用の減少と深刻な状況になっていきます。このような状況を打開する為にリフォーム補助金とか、林業、木材産業の振興で村産材を使用した住宅を建築するものに補助金を交付する制度を創設していただかせんか。

教育長

商業につきましては、プレミアム商品券の発行を計画し、少しでも商業関係の

活性化につながればと思っております。また、工業関係において熊本地産地消の家づくり推進事業として県産材を提供する事業は承知のとおりです。住宅関係の助成については、財政的な問題・村有林の問題を含め積極的に検討させて頂きたいと思えます。

(質問時間50分)



厳しい経営状況が続く「かわせみ」

山林の固定資産税の基礎となる評価額の見直しは

長 見直す方向で進めています

多武 義治 議員

- 一、固定資産税の見直しについて
- 二、買い物弱者対策について
- 三、教育行政について

多武 議員

山林の固定資産税について、税額を決定する上で計算の基礎となる土地評価額が高いのではないかと、これまで申し上げてきました。地籍調査で面積は正確になったのですから、評価額も現在に合った額に変えるべきだと思います。来年度から地籍調査の結果に基づいて課税されるに当たり、税額の見直しの方向性を伺います。

村長

評価額は見直す方向で進めています。土地評価を依頼している機関によると、34%の下落修正ができそうだとの情報です。村民の方には、来年度からの固定資産税が地籍調査の結果で課税になることを、条

件が整いしだい広報等で周知したいと思えます。

多武 議員

次に、自動車など移動手段を持たない、特に高齢者の方が、日々生活するのに困っているのが、生活必需品をどう取りそろえるか。とりわけ食料品をどう買うのか苦労されています。これから増加するであろう買い物弱者対策を行政としても考えてみなければいけない時期に来ていると思えます。

村長

買い物弱者の支援については、具体的にどうするかということ、今のところ考えていません。しかし、交通手段を持たない高齢者の人たちにとって買い物は不安材料です。対策として、福祉バスを利用しどのような方法ができるのか。あるいは、ボランティアの方々の協力がどこまでできるのか。いろいろなやり方を検討する必要があると思えます。

多武 議員

次に、一勝地小の運動場に小規模な遊具が4種類ほど設置してあります。旧神瀬小には、10種類ほどの遊具が現在も残っています。統合して運動場は狭くなり遊具は充実していないではないか、がなもの

かと思えます。遊びながらも体力づくりができる遊具をせめて渡小と同一レベルぐらいに設置する必要があると感じます。

教育長

一勝地小については、運動場自体が狭いので学校側と協議した結果、今の状態になりました。ただ、両小学校については同レベルで進めていきたいと思えますので、再度学校側と協議したいと思います。

多武 議員

球磨中について、保護者や住民の方から、臨時採用の方が多いのではないかと、意見が聞かれます。

教育長

私もその意見は保護者の方から聞いています。教職員の人事異動については、各学校のバランスを考えながら県の教育委員会が行います。

多武 議員

県教育委員会から人事異動に関しての素案が示され、教育委員の皆さんで協議され決定されたと思えますが、何か意見はでませんでしたか。

教育長

特別なものはでませんでした。

多武 議員

本採用の方と臨時採用の方の指導力に差がでると思いま

すか。

教育長

臨時採用だから指導力が落ちることはないと思えます。ないように学校全体で取り組んでいます。

多武 議員

教育長の大きな仕事の一つに教職員人事の充実もあと思っています。

最後に、運動公園のグラウンド使用に関しては、村内利用者優先でお願いします。

教育長

そのような方向で、十分検討します。

(質問時間60分)



来年度から地籍調査の結果に基づいて課税予定の山林

田舎の体験交流館

「さんがうら」がオープン!!



旧一勝地第二小学校を総事業費5,725万円をかけ改修し、農林業の体験や自然に親しむ拠点施設として7月2日にオープンしました。

これから、企業や学校の研修、各種サークルや団体の合宿等で地域に住む人との交流の場として期待されます。



旬の話題

応援ありがとうございました 郡市夏季中体連大会

球磨中学校 校長 友尻 憲秀

7月2日(土)・3日(日)に郡市夏季中体連大会が行われ、女子ソフト部・男女テニス部・野球部・女子バレー部そして剣道部が出場しました。雨や熱中症等が心配されましたが、事故等もなく大会が終了しほっとしております。どの部も本当によく頑張ってくれました。最後まであきらめないプレーそして応援は見事でした。結果は、テニス男子団体が3位、剣道個人学年別で2年生の



中村大地君が3位に入賞しました。また、7月7日(木)に行われた郡市中体連水泳大会では、1年生女子が200mリレーで優勝しました。なお、夏季陸上大会は大雨のために、残念ながら本年度は中止となりました。今後の郡市中体連は、9月28日(水)に秋季陸上大会、そして10月26日(水)に駅伝大会が予定されております。どうかこれからも球磨中生への応援をよろしくお願いいたします。

編集後記

学生時代、野球をやっていたこともあって、現在高校野球の審判員を務めている。グラウンドに入ると、なんともいえない懐かしい気分になれるのが理由のひとつだ。審判員として、複雑きわまりない野球ルールを完全に習得することは至難の業だ。ミスしないようにと、ハラハラ、ドキドキの連続である。審判員心得に、こんなことが書いてある。「勇敢で公平であれ、そして立派な社会人であれ」と。人生の目標としたい。

(多武 義治)



- 広報委員長 多武 義治
- 広報副委員長 高澤 康成
- 広報委員 毎床 文博
- 広報委員 嶽本 孝司